

	<p>【初動に必要な支援人材確保の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害の甚大性（規模・範囲）</li> <li>・通信手段の途絶状況</li> <li>・地域保健活動拠点（保健センター等）の稼働性</li> <li>・マンパワーを要する活動の内容・人数・期間の検討</li> </ul>	<p>【中長期的に必要な支援内容及び人数の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災市町村の事業計画に対する必要人員</li> <li>・復旧・復興フェーズを見通した支援内容や協働体制の明確化</li> </ul>	<p>【当該市町村の復旧・復興期のヘルスニーズに対して必要な支援人材の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該市町村の現状に対して必要な支援人材数</li> </ul>	<p>【当該市町村における平時からの保健師確保計画の策定】</p>
	<p>【応援・派遣のスキームによる支援人材確保の要請】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受援準備への迅速な対応と支援人材要請の表明</li> <li>・県の調整による県内からの応援</li> <li>・県の調整による他自治体からの派遣</li> <li>・市町村の協定締結自治体からの派遣</li> </ul>	<p>【応援・派遣のスキームによる支援人材の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管轄保健所保健師の応援・協定締結自治体からの派遣</li> <li>・県の調整による他自治体からの派遣</li> </ul>		
	<p>【応援・派遣以外のスキームによる支援人材確保のための予算要求資料作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤看護職の緊急雇用</li> <li>・委託業務先の看護職の増員要請</li> </ul>	<p>【応援・派遣以外のスキームによる中長期的支援人材の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤看護師の緊急雇用</li> <li>・業務委託先からの保健師補充による業務遂行</li> <li>・市町村内に居住する保健師等人材の情報収集</li> </ul>		
		<p>【関係機関との協働による人材確保と活動実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（例）診療所看護師との協働による巡回、全戸訪問体制の構築等</li> </ul>	<p>【地域のネットワークを活かした支援人材の把握】</p>	<p>【ネットワークを活用した平時からの地元の有資格者の把握】</p>
	<p>【人材確保に活用できる国・県等の補助金の情報収集】</p>	<p>【人材確保に活用できる国・県等の補助金の検討】</p>	<p>【人材確保に活用できる国・県等の補助金の活用】</p>	

		【人材確保の必要性・数を所属上司に具申】	【人材確保のため関係部署(市町村人事部門、県)との連携】	
2. 人材の配置・調整	【支援人材との共同による被災者への支援体制の構築】・活動報告受理・定期的な情報共有・協議の場づくり		【人材確保のスキームに基づく担当部署間の情報共有・話し合いを踏まえた人員配置計画の立案】	
		【派遣元の経験に基づき業務依頼内容を検討】	【支援人材の経歴に応じた配属先の検討】	【当該市町村における平時からの保健師配属部署間の連携方法の確立、統括的立場の保健師の役割遂行】
		<p>【支援人材に対する組織・業務のオリエンテーション、連携・協働の方針・役割の共有、配属部署における相談体制の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性、自治体組織、業務分掌、健康課題の現状、地域保健活動と災害支援活動を連動させた活動実施、関連機関、組織、復興ビジョンなど</li> <li>・支援人材の相談の窓口者、時期、方法、結果のフィードバック等</li> </ul>	<p>【支援人材に対する組織・業務のオリエンテーション、連携・協働の方針・役割の共有、配属部署における相談体制の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性、自治体組織、業務分掌、健康課題の現状、地域保健活動と災害支援活動を連動させた活動実施、関連機関、組織、復興ビジョンなど</li> <li>・支援人材の相談の窓口者、時期、方法、結果のフィードバック等</li> </ul>	
3. 人材の育成			【支援人材の研修機会の確保(職種別、集合研修、事例検討会など)】	
		【日常の活動をとおした保健師の育成】	【県及び保健所の研修機会の確保】	【平時からの当該市町村における保健師の人材育成計画の策定及び災害保健活動の伝承】

4. 人材の開発		【地元の協力者を被災支援人材として育成】 ・(例) 独居・夫婦高齢者世帯の見守りための支援人材を被災者への支援員として雇用等	【生活支援アドバイザー、ボランティア、NPO 等との協働による関係者の育成】	【当該市町村における平時からの地域保健活動への協力人材の育成】
5. 仕組み・体制づくり、施策化	【支援人材の活用に対する被災市町村の職員側の認識の共有化】		【派遣人材の受入と協働、チームメンバーとしての地元職員の合意形成と風土づくり】	
		【関係者との連携による要援護者への支援体制づくり】		【市町村と保健所、関係機関との平時からの連携協働の場づくり・体制づくり】
		【支援人材に関する業務の分掌・職責の明確化】	【支援人材確保の待遇面の条件整備】	
			【支援人材に対する研修計画の立案・実施・評価】	
<b>Ⅲ. 評価</b>				
	発災直後	中長期	復旧・復興期	平常時
1. 人材配置による効果・成果の把握	【当該市町村における支援人材活用の実績の把握】 ・スキーム別の確保人材数 ・要請に対する配置実績数 ・支援人材の活動期間 ・支援人材による被災者支援業務及び地域保健活動業務の各活動内容・期間	【当該市町村における支援人材活用の実績の把握】 ・スキーム別の人数 ・要請に対する配置実績数 ・支援人材の活動期間 ・支援人材による被災者支援業務及び地域保健活動業務の各活動内容	【当該市町村における支援人材活用の実績の把握】 ・スキーム別の人数 ・要請に対する配置実績数 ・支援人材の活動期間 ・支援人材による被災者支援業務及び地域保健活動業務の各活動内容	【平時からの保健活動の実績の把握】 ・住民、関係者からの評価 ・従事者数と参加者数、活動内容の評価

	<p>【受援活動に対する評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の評価</li> <li>・活動に対する住民の満足度</li> </ul>	<p>【受援活動に対する評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材配置により新たに取組むことのできた事業、把握できたヘルスニーズの評価</li> <li>・活動に対する住民の満足度</li> </ul>	<p>【受援活動に対する評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材配置により新たに取組むことのできた事業、把握できたヘルスニーズの評価</li> <li>・活動に対する住民の満足度</li> </ul>	
	<p>【健康問題の転帰への効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者への対応、健康管理の予防的対応等の目標の達成状況と残された課題の状況</li> </ul>	<p>【健康問題の転帰への効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者への対応、健康管理の予防的対応等の目標の達成状況と残された課題の状況</li> </ul>	<p>【健康問題の転帰への短期的・中長期的な効果の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者への対応、健康管理の予防的対応等の目標の達成状況と残された課題の状況</li> </ul>	<p>【要援護者対策の体系化や体制づくり】</p>
		<p>【中長期的な支援人材活用による費用対効果】</p>	<p>【中長期的な支援人材活用による費用対効果】</p>	
	<p>【関係機関の連携体制への効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所と市町村、関係機関との連携・協力体制の強化</li> </ul>	<p>【関係機関の連携体制への効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所と市町村、関係機関との連携・協力体制の強化</li> </ul>	<p>【関係機関の連携体制への効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所と市町村、関係機関との連携・協力体制の強化</li> </ul>	
2. 今後の体制・施策等への反映			<p>【地域防災計画・災害時対応マニュアルへの反映】</p>	<p>【地域防災計画・災害時対応マニュアルへの反映】</p>
		<p>【災害時の効果的な保健福祉活動推進のための体制づくりへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の保健師職能の役割の明確化と地域防災計画等への反映</li> </ul>	<p>【災害時の効果的な保健福祉活動推進のための体制づくりへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地の課題分析の体制強化</li> <li>・被災地の健康対策に対する部署横断的な取組推進の体制づくり</li> <li>・支援人材の有効活用事例についての情報発信</li> <li>・保健師雇用の市町村財政への寄与の検証</li> </ul>	<p>【災害時の効果的な保健福祉活動推進のための体制づくりへの反映】</p> <p>(例)・次年度の活動計画への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の将来を見据えた保健師活動の方向性への反映</li> </ul>
	<p>【災害時の保健活動推進のための体制づくりへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援人材を活用した活動に関する経時的記録と保存方法の確立</li> </ul>			<p>【現任教育体制への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時対応を含む現任教育体制の整備</li> </ul>

## V. 災害時の支援人材活用等のマネジメント評価指標の活用に向けて

各地域保健活動拠点において発災後の時期別に示した評価指標の数は、以下のとおりです。

表 評価指標の数

県本庁				保健所				市町村			
発災直後	中長期	復旧・復興期	平常時	発災直後	中長期	復旧・復興期	平常時	発災直後	中長期	復旧・復興期	平常時
39	39	37	23	42	36	41	22	44	38	40	27
138				141				149			

各地域保健活動拠点の保健師が、災害時の多忙な状況においても、これらの評価指標を効率的かつ効果的に使用できるよう、各評価指標を、「検討済み」「検討中」「未対応」の3つに識別しながら、チェックし、その結果をレーダーチャートで確認できるよう、ツール化しました。

その時々において、評価指標の内容をチェックし、結果をレーダーチャートで確認することにより、「地域のアセスメント」「支援人材活用等のマネジメント」「評価」の区分ごとの各評価項目について、どの程度検討したかの進捗を、総体的に確認できるようにしました。

付属のCD「地域保健活動拠点（県本庁、保健所、市町村）における災害時の支援人材活用等のマネジメント評価指標 Ver.1」に、各地域保健活動拠点における時期別の評価指標がそれぞれファイルに収録されていますので活用ください。

### <CDに収録されているファイル>

- ・01 県本庁\_災害時支援人材活用等のマネジメント評価指標 Ver1
- ・02 保健所\_災害時支援人材活用等のマネジメント評価指標 Ver1
- ・03 市町村\_災害時支援人材活用等のマネジメント評価指標 Ver1

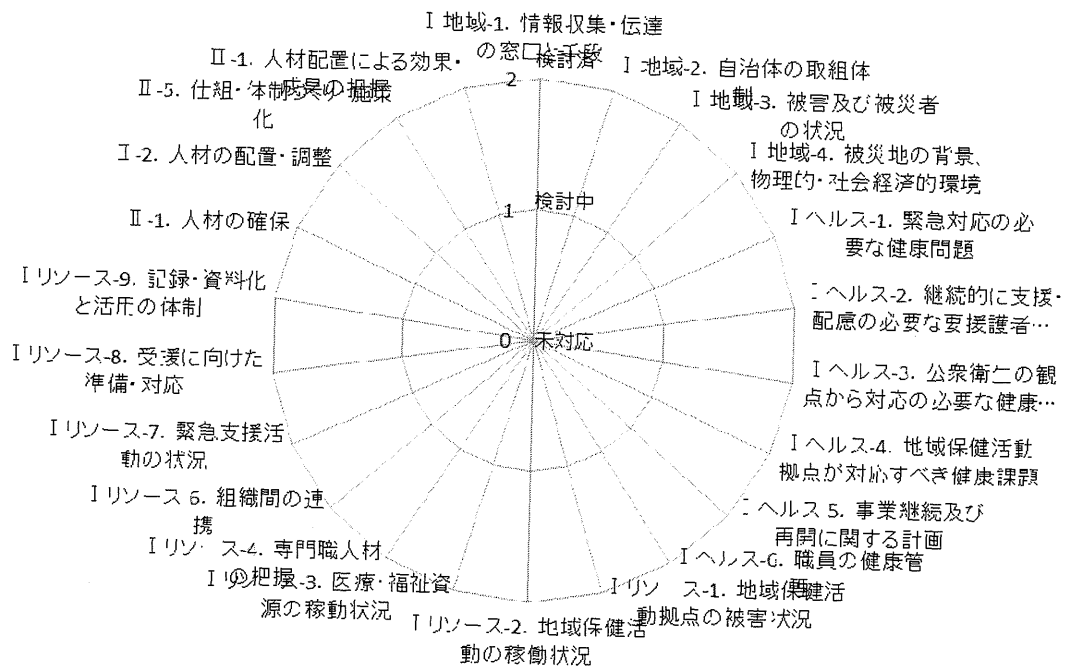
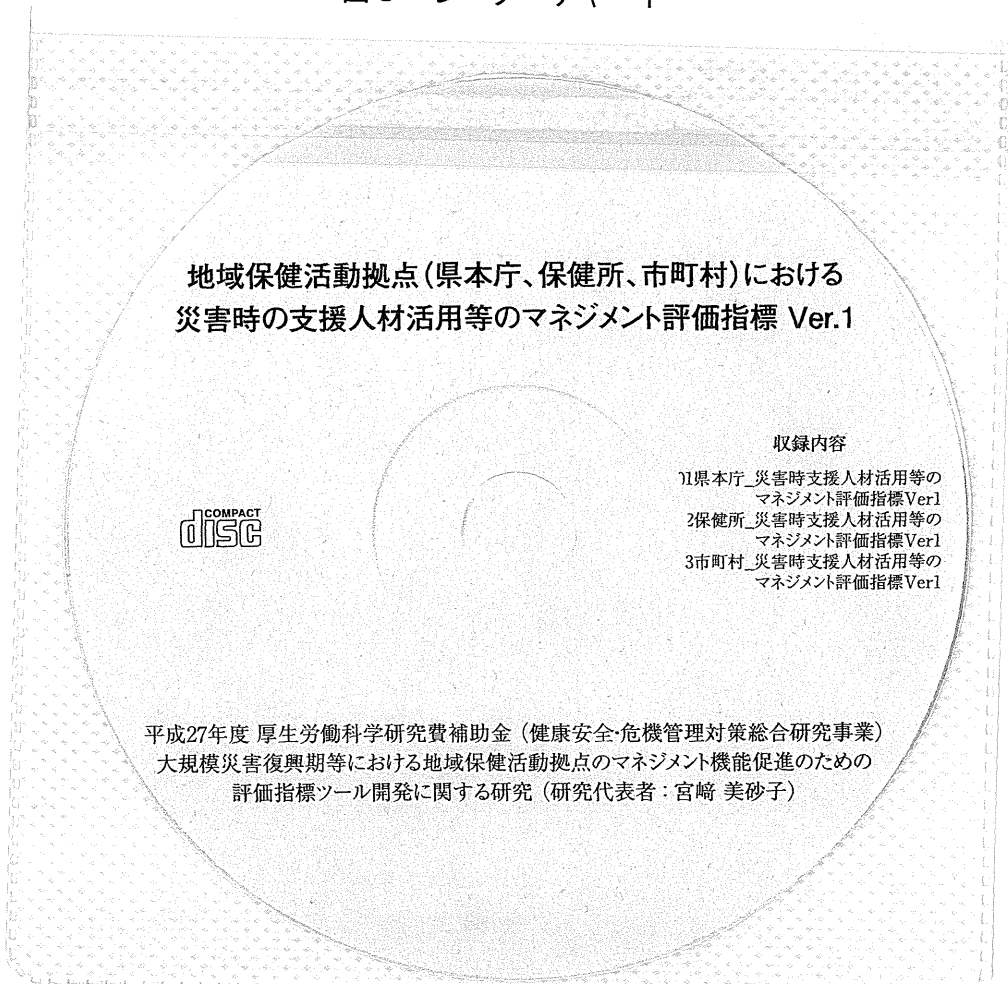


図3 レーダーチャート



平成 27 年度 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
大規模災害復興期等における地域保健活動拠点のマネジメント機能促進のための評価指標  
ツール開発に関する研究

### 研究メンバー

宮崎 美砂子（千葉大学大学院看護学研究科 教授）  
奥田 博子（国立保健医療科学院 上席主任研究官）  
春山 早苗（自治医科大学看護学部 教授）  
上林 美保子（岩手県立大学看護学部 教授）  
安齋 由貴子（宮城大学看護学部 教授）  
高瀬 佳苗（福島県立医科大学看護学部 教授）  
丸谷 美紀（鹿児島大学医学部保健学科 教授）  
金谷 泰宏（国立保健医療科学院 部長）

### 協力

岩手県保健福祉部健康国保課  
宮城県保健福祉部保健福祉総務課  
福島県保健福祉部健康増進課  
鹿児島県保健福祉部保健医療福祉課  
土屋 厚子（静岡県健康福祉部健康増進課 課長）  
丸山 佳子（神戸市保健福祉局健康部地域保健課 計画係長）  
井口 紗織（東京工科大学医療保健学部 助教）  
鈴木 友子（前千葉大学大学院看護学研究科 特任助教）

※ここに掲載し、CD に収録している、「地域保健活動拠点（県本庁、保健所、市町村）における災害時の支援人材活用等のマネジメント評価指標評価指標」は、試案段階のものです。今後、皆様からご意見をいただきながら、災害時の保健師の活動を効果的に進めるうえで、より役立つものにしていきたいと考えております。

ご意見を、ぜひ、下記までいただけると幸いです。

#### 問い合わせ先

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学大学院看護学研究科

研究代表者：宮崎 美砂子

TEL&FAX：043-226-2435

Email:miyamisa@faculty.chiba-u.jp

